

ときを越え  
受け継がれるもの

## 接待館遺跡

### Ⅱ 衣川区七日市場 Ⅱ

衣川の堤防工事に伴い、平成16年、17年に発掘調査が行われたこの遺跡は、衣川区の六日市場、七日市場、関谷起に位置する大規模遺跡である。堀と二重の土塁に囲まれる12世紀後半の施設が発見され、堀などから酒宴や儀式で使われるかわらけが大量に見つかっている。

かわらけの存在は、酒宴や儀式が頻繁にあったことをうかがわせる。平泉の中心から離れたこの地は、平泉の奥座敷であり迎賓館としても使われていたようだ。今なお残る「接待館」の地名は、かつての名残なのかもしれない。藤原秀衡の義父である藤原基成の住まいする「衣河館」も、迎賓館の一つでこの周辺にあったと推測される。歴史書「吾妻鏡」では、源義経は衣河館にいたとき藤原泰衡に襲われたと記される。そうであれば、接待館遺跡周辺こそが、義経終焉の地なのだろう。

1 遺跡は衣川北岸に位置し、39,545.28㎡が国指定史跡「柳之御所・平泉遺跡群」に指定されている。遺跡からは中尊寺のある関山(写真左)、月山(写真右)が良く見える 2 月山中腹の三峯神社からの接待館遺跡周辺の眺め 3 5月28日の衣川ユネスコ協会設立総会では、入間田宣夫一関市博物館長が「平泉姫宮と衣河殿」と題して記念講演。接待館周辺に暮らしていた高貴の人の中には、悲劇の皇女「平泉姫宮」もいたのだろうと語った



広告